

平成18年 3月期 個別財務諸表の概要

平成18年 5月23日

上場会社名株式会社ニチイ学館

上場取引所東

コード番号 9792

代 表 者

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.nichiigakkan.co.jp

役職 名 代表取締役社長 Æ 名 森 嶬

役 職 名 問合せ先責任者 取締役経理本部長兼経理部長 寺田 孝一 氏 名

T E L (03) 3291 - 2121

決算取締役会開催日 平成18年 5月23日

中間配当制度の有無

)

配 当 支 払 開 始 予 定 日 平 成 18 年 6 月 28 日

定時株主総会開催日 平成18年 6月28日

単元株制度採用の有無 有 (1単元 100株)

1. 18年 3月期の業績(平成17年 4月 1日~平成18年 3月31日)

(1)経営成績

	売 上	高	흼	業	利	益	経	常	利	益
	百万円	9 %		百万	円	%		百万	円	%
18年 3月期	197,63	3.7		4,9	56	19.9		5,2	57	18.4
17年 3月期	190,638	5.6		6,18	38	54.2		6,4	38	53.2

	当 期 純 利 益	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 当期 純利益	株 主 資 本当期純利益率	総 資 本 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
18年 3月期	978 -	28.81	-	2.0	6.1	2.7
17年 3月期	3,407 55.9	94.93	-	6.9	8.2	3.4

⁽注)1.期中平均株式数

18年 3月期

35,234,670株

17年 3月期

35,514,999株

(2)配当状況

	1 株	当たり年間配	2当金	配当金総額	型坐垛占	株主資本
		中間	期末	(年間)	配当性向	配当率
	円 銭	円 銭	円銭	百万円	%	%
18年 3月期	22.00	0.00	22.00	774	-	1.6
17年 3月期	22.00	0.00	22.00	776	23.2	1.5

(注) 18年 3月期期末配当金の内訳 記念配当

円 - 銭

特別配当

円 - 銭

(3)財政状態

	総	資	産	株	主	資	本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
			百万円				百万円	%	円 銭
18年 3月期			92,666				48,350	52.2	1,371.63
17年 3月期			80,204				50,385	62.8	1,427.35

(注)1.期末発行済株式数 2. 期末自己株式数

18年 3月期 18年 3月期 35,224,427株 1,284,549株 17年 3月期 17年 3月期 35,275,043 株 1,233,933 株

2. 19年 3月期の業績予想 (平成18年 4月 1日~平成19年 3月31日)

			経常利益	当期純利益	1 7	朱当たじ	年間配	当金				
)	WE 113 413 IIII		中間	期	末				
			百万円	百万円	百万円	円	銭	円銭		円 銭		
中	間	期	102,700	2,000	900	0.	00	-		-		
通		期	208,000	5,600	2,900	-		22.00		22.00		

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)

82円33銭

上記金額は百万円未満を切捨てております。なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる 場合があります。また、上記予想に関する事項は、添付資料の10ページをご参照ください。

^{2.}会計処理の方法の変更 有 3.売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

6. 個別財務諸表等

(1) 貸借対照表

(1) 貝旧州州水		(平成1	第33期 7年3月31日現	在)	(平成1	第34期 8年3月31日現	在)	対前年比
区分	注記 番号	金額	(千円)	構成比 (%)	金額	(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金			1, 657, 621			10, 691, 827		9, 034, 206
2. 受取手形			9, 679			5, 140		△4 , 538
3. 売掛金			22, 955, 537			24, 151, 666		1, 196, 129
4. 商品			3, 738, 790			1, 319, 066		$\triangle 2, 419, 724$
5. 教材			247, 110			188, 120		△58, 990
6. 未成業務支出金			1, 915			1, 534		△381
7. 未成工事支出金			2, 059			1, 135		△923
8. 貯蔵品			192, 120			207, 465		15, 344
9. 前払費用			1, 048, 326			1, 288, 565		240, 238
10. 繰延税金資産			1, 783, 725			2, 850, 245		1, 066, 520
11. 関係会社短期貸付 金			57, 000			72, 000		15, 000
12. 未収入金			1, 455, 977			1, 263, 639		△192, 337
13. その他			549, 849			139, 280		△410, 569
14. 貸倒引当金			△52, 706			△113, 289		△60, 582
流動資産合計			33, 647, 007	42.0		42, 066, 398	45. 4	8, 419, 391
Ⅱ 固定資産								
(1) 有形固定資産								
1. 建物	※ 2	21, 766, 912			28, 427, 292			
減価償却累計額		4, 266, 048	17, 500, 864		5, 348, 443	23, 078, 848		5, 577, 984
2. 構築物	※ 2	1, 382, 282			1, 906, 197			
減価償却累計額		355, 522	1, 026, 760		477, 091	1, 429, 105		402, 345
3. 機械及び装置		110, 871			117, 901			
減価償却累計額		74, 963	35, 907		81, 733	36, 168		260
4. 車輌運搬具		18, 152			11, 908			
減価償却累計額		16, 787	1, 365		11, 093	815		△549
5. 器具備品	※ 2	1, 435, 930			1, 532, 999			
減価償却累計額		970, 881	465, 048		1, 045, 397	487, 601		22, 552

		(平成17	第33期 7年3月31日現	在)	(平成18	第34期 8年3月31日現	在)	対前年比
区分	注記 番号	金額	(千円)	構成比 (%)	金額	(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
6. 土地			7, 801, 862			7, 662, 995		△138, 866
7. 建設仮勘定			1, 235, 972			2, 040, 667		804, 695
有形固定資産合計			28, 067, 780	35. 0		34, 736, 202	37. 5	6, 668, 422
(2) 無形固定資産								
1. ソフトウェア			594, 476			879, 631		285, 154
2. 電話加入権			78, 034			78, 034		_
3. 施設利用権			70, 843			109, 359		38, 515
4. 商標権			871			324		△547
無形固定資產合計			744, 225	0.9		1, 067, 348	1. 1	323, 122
(3) 投資その他の資産								
1. 投資有価証券			1, 390, 998			893, 442		△497, 556
2. 関係会社株式			4, 760, 888			3, 173, 916		$\triangle 1,586,972$
3. 関係会社社債			125, 000			_		△125, 000
4. 出資金			2, 024			2,000		△24
5. 関係会社出資金			20, 000			20, 000		_
6. 長期貸付金			79, 102			152, 910		73, 808
7. 従業員長期貸付金			320			470		150
8. 関係会社長期貸 付金			4, 450, 360			453, 000		△3, 997, 360
9. 破産債権等	※ 4		65, 706			3, 192, 465		3, 126, 758
10. 長期前払費用			93, 476			141, 809		48, 333
11. 繰延税金資産			963, 107			3, 269, 507		2, 306, 399
12. 賃貸資産		777, 602			777, 602			
減価償却累計額		217, 319	560, 283		249, 789	527, 813		△32, 469
13. 差入保証金			4, 754, 296			4, 849, 483		95, 187
14. 保険積立金			510, 895			609, 612		98, 717
15. 会員権			39, 010			39, 000		△10
16. 貸倒引当金	※ 4		△69, 783			△2, 528, 685		$\triangle 2, 458, 901$
投資その他の資産 合計			17, 745, 686	22. 1		14, 796, 746	16. 0	△2, 948, 940
固定資産合計			46, 557, 692	58. 0		50, 600, 297	54.6	4, 042, 605
資産合計			80, 204, 699	100.0		92, 666, 696	100.0	12, 461, 996

		第33期 (平成17年3月31日現	在)	(平成18	在)	対前年比	
区分	注記番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(負債の部)							
I 流動負債							
1. 買掛金		948, 593			1, 230, 455		281, 862
2. 短期借入金		4, 002, 000			12, 358, 000		8, 356, 000
3. 未払金	※ 4	5, 454, 374			2, 854, 510		△2, 599, 863
4. 未払費用		11, 496, 209			15, 213, 763		3, 717, 553
5. 未払法人税等		544, 683			1, 981, 924		1, 437, 240
6. 未払消費税等		_			1,721,800		1, 721, 800
7. 前受金		1, 299, 597			1, 141, 903		△157, 693
8. 預り金		323, 128			586, 632		263, 504
9. 賞与引当金		3, 219, 130			3, 431, 969		212, 839
10. 関係会社整理損失 引当金		_			903, 000		903, 000
流動負債合計		27, 287, 717	34. 0		41, 423, 959	44. 7	14, 136, 242
Ⅱ 固定負債							
1. 退職給付引当金		2, 354, 084			2, 707, 603		353, 518
2. 役員退職慰労引当金		123, 181			124, 529		1, 347
3. 預り保証金		53, 777			59, 827		6, 050
固定負債合計		2, 531, 044	3. 2		2, 891, 960	3. 1	360, 915
負債合計		29, 818, 761	37. 2		44, 315, 919	47.8	14, 497, 158

		(平成1	第33期 7年3月31日現	在)	(平成18	第34期 8年3月31日現	在)	対前年比
区分	注記番号	金額	(千円)	構成比 (%)	金額	(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(資本の部)								
I 資本金	※ 1		11, 933, 790	14. 9		11, 933, 790	12. 9	_
Ⅱ 資本剰余金								
(1) 資本準備金		15, 262, 748			15, 262, 748			
資本剰余金合計			15, 262, 748	19. 0		15, 262, 748	16. 5	_
Ⅲ 利益剰余金								
(1) 利益準備金		364, 928			364, 928			
(2) 任意積立金								
1. 別途積立金		23, 802, 345			25, 802, 345			
(3) 当期未処分利益		4, 631, 887			839, 562			
利益剰余金合計			28, 799, 160	35. 9		27, 006, 835	29. 1	△1, 792, 325
IV その他有価証券評価 差額金			181, 872	0. 2		77, 628	0. 1	△104, 243
V 自己株式	※ 5		△5, 791, 633	△7.2		△5, 930, 226	△6.4	△138, 592
資本合計			50, 385, 937	62.8		48, 350, 776	52. 2	△2, 035, 161
負債・資本合計			80, 204, 699	100.0		92, 666, 696	100.0	12, 461, 996

(2) 損益計算書

(2) 損益計算書		(自 平 至 平	第33期 成16年4月1日 成17年3月31日	1	(自 平 至 平	第34期 成17年4月1日 成18年3月31日	∃ ∃)	対前年比
区分	注記 番号	金額(金額 (千円)		金額(千円)	百分比 (%)	増減 (千円)
I 売上高								
1. 医療関連売上高		104, 314, 663			107, 694, 743			
2. ヘルスケア売上 高		70, 875, 348			76, 341, 560			
3. 教育売上高		15, 448, 775	190, 638, 787	100.0	13, 599, 349	197, 635, 653	100.0	6, 996, 865
Ⅱ 売上原価								
1. 医療関連売上原 価		87, 971, 499			88, 754, 633			
2. ヘルスケア売上 原価		58, 080, 693			63, 182, 649			
3. 教育売上原価		7, 115, 503	153, 167, 696	80. 3	6, 598, 321	158, 535, 604	80. 2	5, 367, 908
売上総利益			37, 471, 091	19. 7		39, 100, 049	19.8	1, 628, 957
Ⅲ 販売費及び一般管 理費								
1. 広告宣伝費		4, 586, 465			5, 326, 303			
2. 役員報酬		84, 073			102, 660			
3. 給料手当		11, 831, 967			12, 573, 014			
4. 賞与引当金繰入 額		730, 957			796, 586			
5. 役員退職慰労金		874			320			
6. 役員退職慰労引 当金繰入額		7, 523			7, 034			
7. 退職給付費用		380, 124			409, 764			
8. 法定福利費		1, 649, 607			1, 838, 188			
9. 福利厚生費		318, 635			406, 407			
10. 旅費交通費		1, 288, 013			1, 388, 215			
11. 租税公課		1, 487, 082			1, 686, 058			
12. 賃借料		2, 703, 723			3, 050, 523			
13. 印刷費		254, 793			219, 145			
14. 業務委託費		427, 341			350, 748			
15. 支払手数料		1, 548, 167			1, 760, 392			
16. 貸倒引当金繰入 額		85, 600			90, 146			
17. 減価償却費		329, 100			627, 667			
18. 貸倒損失		8, 379			_			
19. その他		3, 560, 059	31, 282, 491	16. 4	3, 510, 040	34, 143, 218	17. 3	2, 860, 727
営業利益			6, 188, 600	3. 3		4, 956, 830	2. 5	△1, 231, 769

		(自 平 至 平	第33期 成16年4月1日 成17年3月31日	∃ ∃)	(自 平 至 平	∃ ∃)	対前年比	
区分	注記 番号	金額 (千円)		百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	増減 (千円)
IV 営業外収益								
1. 受取利息	※ 1	41, 666			38, 779			
2. 有価証券利息		3, 442			620			
3. 受取配当金	※ 1	114, 938			120, 358			
4. 事務受託料		77, 809			91, 952			
5. 固定資産賃貸収 入	※ 3	38, 287			37, 805			
6. 雑収入		76, 463	352, 608	0.2	81, 318	370, 835	0.2	18, 226
V 営業外費用								
1. 支払利息		34, 125			49, 555			
2. 損害賠償金		42, 546			11, 059			
3. 差入保証金解約 損		20, 784			854			
4. 雑損失		5, 057	102, 514	0.1	9, 017	70, 487	0.0	△32, 026
経常利益			6, 438, 694	3. 4		5, 257, 178	2. 7	△1, 181, 516
VI 特別利益								
1. 固定資産売却益	※ 2	_			4			
2. 投資有価証券売 却益		3, 981			552, 837			
3. 関係会社株式売 却益		_	3, 981	0.0	416, 001	968, 842	0.5	964, 861

		第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)			(自 平 至 平		対前年比	
区分	注記 番号	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	増減 (千円)
VII 特別損失								
1. 固定資産除却損	※ 2	66, 301			68, 977			
2. 固定資産売却損	※ 2	93, 676			35, 653			
3. 会員権評価損		4, 849			10			
4. 事業所閉鎖損		112, 048			7, 552			
5. 商品評価損		_			2, 422, 614			
6. 関係会社株式評 価損		_			1, 433, 466			
7. 減損損失	※ 4	_			131, 098			
8. 関係会社貸倒引 当金繰入額		_			2, 455, 000			
9. 関係会社整理損 失引当金繰入額		1	276, 876	0.2	903, 000	7, 457, 372	3.8	7, 180, 495
税引前当期純利 益又は税引前当 期純損失(△)			6, 165, 799	3. 2		$\triangle 1, 231, 351$	△0.6	△7, 397, 150
法人税、住民税 及び事業税		2, 924, 000			3, 049, 000			
法人税等調整額		△165, 637	2, 758, 362	1.4	△3, 301, 402	△252, 402	△0.1	△3, 010, 765
当期純利益又は 当期純損失 (△)			3, 407, 436	1.8		△978, 948	△0.5	△4, 386, 385
前期繰越利益			1, 226, 022			1, 819, 836		593, 813
自己株式処分差 損			1, 571			1, 325		△246
当期未処分利益			4, 631, 887			839, 562		△3, 792, 325

(3) 利益処分案

(3) 利益之为朱						
		第3 株主総会 (平成17年		株主総会	4期 会承認日 6月28日)	対前年比
区分	注記番号	金額(千円)	金額(千円)	増減 (千円)
I 当期未処分利益			4, 631, 887		839, 562	△3, 792, 325
Ⅱ 別途積立金取崩額		_	_	1,000,000	1,000,000	1, 000, 000
合計			4, 631, 887		1, 839, 562	△2, 792, 325
Ⅲ 利益処分額						
1. 配当金		776, 050		774, 937		
2. 役員賞与金		36, 000		36, 000		
(うち監査役賞与金)		(3, 500)		(3, 500)		
3. 別途積立金		2, 000, 000	2, 812, 050	_	810, 937	△2, 001, 113
IV 次期繰越利益			1, 819, 836		1, 028, 624	△791, 211

重要な会計方針

里安な云計万計		
項目	第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第34期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1. 有価証券の評価基準及び	(1) 子会社株式及び関連会社株式	(1) 子会社株式及び関連会社株式
評価方法	 移動平均法による原価法	同左
H I IIM 2 3 IM	(2) その他有価証券	(2) その他有価証券
	時価のあるもの	時価のあるもの
		· ·
	決算日の市場価格等に基づく時価法	同左
	(評価差額は全部資本直入法により	
	処理し、売却原価は移動平均法によ	
	り算定)	
	時価のないもの	時価のないもの
	移動平均法による原価法	同左
2. たな卸資産の評価基準及	(1) 商品	(1) 商品
び評価方法	移動平均法による原価法	同左
	(2) 教材	(2) 教材
	移動平均法による原価法	同左
	(3) 未成業務支出金	(3) 未成業務支出金
	個別法による原価法	同左
	(4) 未成工事支出金	(4) 未成工事支出金
	個別法による原価法	同左
	(5) 貯蔵品	(5) 貯蔵品
	最終仕入原価法	同左
3. 固定資産の減価償却の方法	有形固定資産定率法	同左
	ただし、平成10年4月1日以降に取得し	, , ,
	た建物(附属設備除く)及び通所介護施	
	設等に係る建物附属設備、構築物及び器	
	具備品については定額法を採用しており	
	ます。	
	なお、主な耐用年数は次のとおりであり	
	ます。	
	建物 15~50年	
	構築物 10~20年	
	器具備品 3~6年	
	無形固定資産定額法	同左
	なおソフトウェア(自社利用)について	
	は、社内における見込利用可能期間(5	
	年)に基づく定額法	
	長期前払費用定額法	同左

項目	第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第34期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
4. 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 売上債権等の貸倒損失に備えるため、 一般債権については、貸倒実績率によ り、貸倒懸念債権等特定の債権につい ては個別に回収可能性を勘案し回収不 能見込額を計上しております。	(1) 貸倒引当金 同左
	(2) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に充てるため、実 際支給見込額基準により計上しており ます。	(2) 賞与引当金 同左
	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期 末における退職給付債務及び年金資産 の見込額に基づき計上しております。 数理計算上の差異の処理年数は、正社 員、準社員及び業務社員役職者分は5 年、役職者を除く業務社員分は4年で あり、それぞれ発生の翌事業年度から 定額法により按分した額を費用処理す ることにしております。	(3) 退職給付引当金 同左
	(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金支給に充てるため、 内規に基づく期末要支給額を計上して おります。	(4) 役員退職慰労引当金 同左
		(5) 関係会社整理損失引当金 関係会社の整理に伴い発生すると見込 まれる損失に備えるため、必要な金額 を計上しております。
5. 収益及び費用の計上基準	(1) 医療関連売上 診療報酬請求業務等の請負業務につい ては、業務完了分を売上計上しており ます。その他の医事業務については、 当期に提供した役務に対応する売上高 を計上しております。	(1) 医療関連売上 同左
	(2) 教育売上 受講料については、受講期間の経過に 応じて売上高を計上しております。	(2) 教育売上 同左
6. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース 取引については、通常の賃貸借取引に係る 方法に準じた会計処理によっております。	同左
7. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 消費税等の処理方法 税抜方式によっております。ただし、 控除対象外消費税等は販売費及び一般 管理費として処理しております。	(1) 消費税等の処理方法 同左

会計処理方法の変更

第33期	第34期
(自 平成16年4月1日	(自 平成17年4月1日
至 平成17年3月31日)	至 平成18年3月31日)
	(固定資産の減損に係る会計基準) 当事業年度から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。 これにより税引前当期純損失が131,098千円増加しております。 なお、減損損失累計額については、改正後の財務諸表等規則に基づき当該各資産の金額から直接控除しております。

表示方法の変更

第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第34期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
前期に流動資産の「その他」に含めて表示しておりまし		
た「未収入金」は、当期において、資産の総額の100分の1		
を超えたため、区分掲記しております。		
なお、前期末の「未収入金」は705,588千円であります。		

追加情報

第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第34期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
実務対応報告第12号「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算上の表示についての実務上の取扱い」(企業会計基準委員会平成16年2月13日)が公表されたことに伴い、当期から同実務対応報告に基づき、法人事業税の付加価値割及び資本割525,000千円を販売費及び一般管理費として処理しております。この結果、販売費及び一般管理費は525,000千円増加し、	
営業利益、経常利益及び税引前当期純利益は同額は同額減少しております。	

注記事項

(貸借対照表関係)

第33期 (平成17年3月31日現在)

※1. 会社が発行する株式の総数

普通株式 110,000千株

発行済株式総数

普通株式 36,508千株

※2. 有形固定資産に係る国庫補助金等の受入れによる圧縮記帳累計額は、建物145,680千円、構築物2,557千円、器具備品15,238千円、計163,476千円であります。

3. 当座貸越契約及びコミットメント

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行7行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当事業度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

当座貸越極度額及び貸出

コミットメントの総額

43,875,000千円

借入実行残高

4,002,000

差引額

39, 873, 000

※4. 関係会社に係る注記

関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。

未払金 3,740,500千円 なお、前期末の未払金は354,956千円であります。

※5. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式 1,233,933株であります。

6. 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額は181,872千円であります。

第34期 (平成18年3月31日現在)

※1. 会社が発行する株式の総数

普通株式 110,000千株

発行済株式総数

普通株式 3

36,508千株

※2. 当事業年度において、国庫補助金等の受入れにより、 建物13,332千円、器具備品3,617千円の圧縮記帳を 行いました。

なお、有形固定資産に係る国庫補助金等の受入れによる圧縮記帳累計額は、建物159,012千円、構築物2,557千円、器具備品18,856千円、計180,426千円であります。

3. 当座貸越契約及びコミットメント

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行6行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当事業度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

当座貸越極度額及び貸出

コミットメントの総額

36,668,000千円

借入実行残高

12, 346, 000

差引額

24, 322, 000

※4. 関係会社に係る注記

関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれて おります。

破産債権等

3,131,277千円

貸倒引当金

2,468,073千円

※5. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式1,284,549 株であります。

6. 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額は77,628千円であります。

(損益計算書関係)

第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

第34期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

※1. 関係会社に係る注記

関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれて おります。

受取利息

40,386千円

受取配当金

87,600

※2. 固定資産売却損及び固定資産除却損の内訳は次のと おりであります。

固定資産売却損

建物	67,729千円
構築物	2, 113
機械及び装置	3, 934
器具備品	19, 898
合計	93, 676
固定資産除却損	
建物	44,859千円
構築物	2, 933
車輌運搬具	328
器具備品	16, 678
ソフトウェア	1, 500
合計	66, 301

示しております。賃貸費用の内訳は次のとおりであ ります。

減価償却費	16,775千円
租税公課	8, 931
合計	25, 706

※. 減損損失

※1. 関係会社に係る注記

関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれて おります。

受取利息

36,406千円

受取配当金

93, 500

※2. 固定資産売却益及び固定資産売却損、固定資産除却 損の内訳は次のとおりであります。

固定資産売却益

建物	3千円
器具備品	1
合計	4
固定資産売却損	
土地	35,653千円
固定資産除却損	
建物	58,025千円
構築物	3, 318
機械装置	142
車輌運搬具	312
器具備品	7, 177
	68, 977

※3. 固定資産賃貸収入は、賃貸に係る費用を相殺して表 ┃※3. 固定資産賃貸収入は、賃貸に係る費用を相殺して表 示しております。賃貸費用の内訳は次のとおりであ ります。

減価償却費	32,469千円
租税公課	6, 768
合計	39, 238

※4. 減損損失

当事業年度において、以下の資産について減損損失 を計上いたしました。

場所	用途	種類	金額(千円)
北関東滅菌センター	滅菌設備	建物	78, 766
(埼玉県鴻巣市)	and the state of t	構築物	1, 203
		器具備品	5, 035
		土地	44, 813
		長期前払費用	100
		その他	1, 179

当社は、単独でキャッシュ・フローを生み出す最 小の事業単位である事業所ごとにグループ化し、減 損会計を適用しております。

その他に、本社、研修施設等については独立して キャッシュ・フローを生み出さないことから共有資 産としております。

このうち、上記売却予定である資産については減 損処理を行い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し ております。なお、回収可能価額は、正味売却価額 により測定し、不動産鑑定士による鑑定評価額より 処分見込費用を控除した金額を使用しております。

① リース取引

第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

- 1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
- (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	取得価額相 当額 (千円)	減価償却累計額相当額(千円)	期末残高相 当額 (千円)
機械及び装置	24, 474	1, 998	22, 475
車輌運搬具	2, 363, 175	1, 689, 522	673, 652
器具備品	11, 956, 587	5, 982, 467	5, 974, 120
ソフトウェア	2, 562, 976	1, 268, 629	1, 294, 347
合計	16, 907, 213	8, 942, 617	7, 964, 596

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1 年内3,458,348千円1 年超4,802,407合計8,260,756

- (3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額
 支払リース料 4,635,164千円
 減価償却費相当額 4,169,210
 支払利息相当額 366,675
- (4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額 法によっております。

(5) 支払利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差を 利息相当額とし、各期への配分方法については、利息 法によっております。

2. オペレーティング・リース取引

未経過リース料

1年内	25,804千円
1年超	79, 896
合計	105, 700

第34期

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

- 1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
- (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

银灰 0 粉 水 次 同 相 二 银			
	取得価額相 当額 (千円)	減価償却累計 額相当額(千 円)	期末残高相 当額 (千円)
建物	16, 172	3, 520	12, 652
機械及び装置	199, 637	26, 021	173, 615
車輌運搬具	1, 774, 678	1, 187, 024	587, 654
器具備品	11, 903, 336	6, 056, 986	5, 846, 349
ソフトウェア	2, 455, 620	1, 603, 117	852, 503
合計	16, 349, 445	8, 876, 670	7, 472, 775

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1 年内3,000,272千円1 年超4,717,034合計7,717,306

- (3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 4,248,893千円 減価償却費相当額 3,826,141 支払利息相当額 343,602
- (4) 減価償却費相当額の算定方法

同左

(5) 支払利息相当額の算定方法

同左

2. オペレーティング・リース取引

未経過リース料

1 年内25,804千円1 年超54,091合計79,896

② 有価証券

前事業年度(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)及び当事業年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)における子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

③ 税効果会計

第33期 (自 平成16年4月) 至 平成17年3月3	1日 1日)	第34期 (自 平成17年4月 至 平成18年3月	1日 31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の内訳	の発生の主な原因別の	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債 内訳	の発生の主な原因別の
繰延税金資産 未払事業税等 賞与引当金 未払費用 一括償却資産 貸倒引当金 退職給付引当金 役員退職慰労引当金 ゴルフ会員権評価損 その他	217, 301千円 1, 309, 863 165, 082 36, 127 35, 924 930, 028 50, 122 27, 293 99, 863	繰延税金資産 未払事業税等 賞与引当金 未払費用 一括償却資産 貸倒引当金 退職給付引当金 役員退職慰労引当金 ゴルフ会員権評価損 関係会社株式評価損	249,007千円 1,396,468 175,022 45,613 1,056,515 1,101,723 50,671 27,704 572,090
繰延税金資産計 繰延税金負債 その他有価証券評価差額金 繰延税金負債計 差引 繰延税金資産の純額	2, 871, 607 124, 774 124, 774 2, 746, 833	商品評価損 関係会社整理損失引当金 減損損失 その他 繰延税金資産小計 評価性引当額 繰延税金資産合計 繰延税金負債 その他有価証券評価差額金 繰延税金負債計 差引 繰延税金資産の純額	$985, 028$ $367, 430$ $52, 863$ $110, 241$ $6, 190, 381$ $\triangle 17, 371$ $6, 173, 010$ $53, 257$ $53, 257$ $6, 119, 752$
2. 法定実効税率と税効果会計適用をとの差異原因 との差異原因 法定実効税率 (調整) 交際費等の損金不算入 受取配当金等の益金不算入 住民税均等割 その他 税効果会計適用後の法人税等のな	40. 69% 0. 45 △0. 59 4. 29 △0. 10	2. 法定実効税率と税効果会計適用との差異原因 法定実効税率と税効果会計適用との差異については、税引前当るため記載しておりません。	後の法人税等の負担率後の法人税等の負担率

(1株当たり情報)

第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		(自 至	第34期 平成17年4月1日 平成18年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,427円35銭	1株当たり純資産額	頂	1,371円63銭
1株当たり当期純利益	94円93銭	1株当たり当期純拮	損失	28円81銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期	純利益金額につ	なお、潜在株式調	整後1株当たり当期	純利益金額につ
いては、希薄化効果を有している潜在株式	弋が存在しないた	いては、1株当たり	当期純損失であるため	記載しておりま
め記載しておりません。		せん。		

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

あります。		
	第33期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	第34期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	3, 407, 436	△978, 948
普通株主に帰属しない金額 (千円)	36, 000	36, 000
(うち利益処分による役員賞与金)	(36, 000)	(36, 000)
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	3, 371, 436	△1, 014, 948
期中平均株式数(千株)	35, 514	35, 234
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	-	_
普通株式増加数 (千株)	-	_
(うち新株引受権)	_	_
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	 (1) 新株引受権(平成12年6月29日定時株主総会決議新株引受権の数157,300株) (2) 新株引受権(平成13年6月28日定時株主総会決議新株引受権の数207,408株)。 (3) 新株予約権(平成15年6月27日定時株主総会決議新株予約権の数2,250個)。 	

(重要な後発事象)

子会社の清算について

当社は、平成18年4月28日開催の取締役会において、下記の子会社を清算することを決議いたしました。

1. 清算に至った経緯

当社は、厳しい経営環境において企業価値を拡大するために、コア事業強化と新事業・サービスへの取り組みを中心とした成長戦略、グループ会社再編等の組織改革を推進しております。

平成18年4月に、医療・介護とも大きな制度改革が実施される新しい事業年度を迎えるにあたり、子会社各社の収益性及び将来性を再検討しておりました。平成18年3月期決算状況も併せて総合的に検討し、更なるグループ会社再編の必要性について協議を行いました。その結果、業績悪化が続いている子会社2社(株式会社パワーバンク、株式会社日本デンタルサービス)については、事業の再構築を図ってまいりましたが、事業を継続し再建するには、長期間を要すると判断し、清算することを決定いたしました。

2. 清算子会社の概要

(1) 商号	株式会社 パワーバンク	株式会社 日本デンタルサービス
(2) 本社所在地	東京都千代田区丸の内	東京都千代田区神田駿河台
(3) 代表者	森 信介	増田 尚紀
(4) 事業内容	人材派遣業	医療機関経営コンサルティング業務
(5) 設立年月	平成 9 年12月	平成12年4月
(6) 資本金	8億円(当社100%出資)	1億円(当社70%出資)
(7)清算の日程	平成18年5月 営業停止	平成18年9月末 営業停止
	平成18年9月 解散決議	平成18年10月 解散決議
	平成18年12月 清算終了	平成18年12月 清算終了

3. 当期における会計的手当等について

子会社清算の方針決定に伴い当事業年度について特別損失は、4,742百万円(株式会社パワーバンクは関係会社株式評価損1,314百万円及び関係会社整理損失引当金繰入903百万円、株式会社日本デンタルサービスは関係会社貸倒引当金繰入2,455百万円及び関係会社株式評価損69百万円)を計上しております。

7. 役員の異動 (平成18年6月28日予定)

1. 代表者の異動 該当事項はありません。

2. その他の役員の異動

- (1) 新任取締役候補 該当事項はありません。
- (2) 退任予定取締役 該当事項はありません。